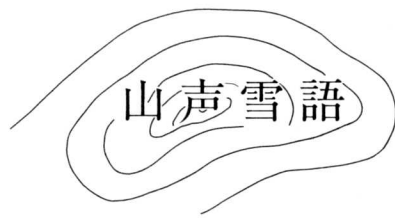


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2637回★★ 韓国第三の高峰 ソラク(雪岳)山 1,708m	11月5日(土) ~10日(木)	井戸 澄夫	
5日 チェジュ航空利用 関空16:30出発→ソウル到着18:20(泊) 6日 午前 高速バスで西海岸 東草へ(約3時間) 午後 東草散策 市内バスで五色温泉へ(泊) 7日 早朝 五色温泉からソラク山主峰大青峰へ登頂(約5時間) 下山は千仏洞溪谷から新興寺へ 雪岳洞又は東草(泊) 8日 タクシー又はマイクロバスで38度線統一展望台から金剛山展望, 東草近郊を観光し高速バスでソウルへ(泊) 9日 ソウル周辺観光 ソウル(泊) 10日 早朝 ソウル9:10出発→関空10:50到着			
備考 <ul style="list-style-type: none"> 韓国で最も人気のある山です。38度線から金剛山も望めます。 概算費用 航空券と高速バス代、宿泊費で約60,000円 他に食費、観光費用が必要です。 			
第2638回★ 東日本大震災復興支援 がんばろう日本! 元気を京都から! チャレンジウォーク 京都一周トレイル	11月20日(日) 我が部担当コースは、 第6コースで右端行程欄 のとおりです。	清水 康裕	9:00叡電二ノ瀬駅…夜泣峠… 向山…山幸橋…盗人谷…小峠 …氷室神社…京見峠…長坂越 …千束…鷹峯源光庵前(解散 16:00予定)
備考 <ul style="list-style-type: none"> スタッフとして参加します。 段取りの詳細は、別途11月14日(月)集会でご説明します。 			
第2639回★ 納山祭 三岳山	12月17日(土) ~18日(日) 17日AM8:00 竹田駅西口集合	清水 康裕 堀田 剛 岡本 義弘 吉田 武	
17日 竹田駅西口—R9中山—R9福知山—R426佐々木—「みたけ山荘」…三岳山往復… …三岳青少年 山の家「みたけ山荘」泊まり 18日 「みたけ山荘」—R9六十内—市道 長安寺…姫髪山往復…長安寺—R9福知山市岩井 —京都烏丸五条 解散			
備考 <ul style="list-style-type: none"> やど 福知山市三岳青少年 山の家「みたけ山荘」 福知山市字喜多672 費用 13,000円 TEL 0773-33-2804 参加希望者は12月9日(金)集会までに担当者へ必ず連絡してください。 			

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2640回★ 初登山 青竜山と多賀大社	1月8日(日) AM8:00 竹田駅西口集合	清水 康裕 堀田 剛 松田 誠二	
竹田駅西口 — 京都南 IC — 彦根 IC — R307 故宮神社前 … いわくらの小径登山口 … いわくら峰往復 … 青竜山333m … みはらしの小径 … 休憩所 … たにの小径 … 大門池 … 故宮神社前 — 多賀大社参拝 — 彦根 IC — 京都南 IC — 竹田駅西口 解散			
備 考 ・ ぜんざいをしますので、各自餅を持参してください。 ・ 参加費用 500円 ・ 参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			
第2641回★ 志賀高原スキーツアー 志賀高原一帯 横手山～焼額山	1月27日(金) ～29日(日) 詳しいことは、 参加者で調整します。	吉田 武	
27日 京都 — 志賀高原 — 横手山スキー場 — 熊の湯スキー場 — 「ホテル五郎兵衛」泊まり 28日 「ホテル五郎兵衛」 — 奥志賀高原スキー場 — 寺小屋ゲレンデ — 「ホテル五郎兵衛」泊まり 29日 「ホテル五郎兵衛」 — ジャイアントスキー場・発哺スキー場 — 「ホテル五郎兵衛」 — 京都 (解散)			
備 考 ・ やど 「ホテル五郎兵衛」 長野県下高井郡山之内町蓮池7148 TEL 0269-34-2931 ・ 費用 50,000円 (リフト代は別です。) ・ 参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			
今月の集会		企画運営委員会	
日 時 11月14日(月) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)		日 時 11月24日(木) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



3月11日の東日本大震災の直後、我が部は総会の議決を経て、室町二条のNPO「京町家さいりん館室町二条」を通じて救援物資を送り、京都新聞福祉事業団へ「東日本大震災救援金」として10万円を寄付した。それだけでは足りず、今もなお被災地の方々は生活支援を必要とされているように、まだまだ長期戦の支援活動が続けなければならないのだと思ってきた。そうしたとき、私は京交山岳部を代表して京都府山岳連盟の理事会に出席しているが、今年度の7月15日の第1回理事会で来る11月20日(日)の「東日本大震災復興支援 がんばろう日本! 元気を京都から! チャレンジウォーク京都一周トレイル」を開催することが突然決定した。そして7月29日の第1回実行委員会に私は招集された。我が部と皆子山岳会は第6コース「二ノ瀬から氷室・京見峠を歩く」を担当することになった。紆余曲折はあったものの、「運営費を除く剰余金は、すべて社団法人日本山岳協会を通じて東日本大震災復興支援金に充てます。」とパンフレットに書かれている趣旨に心から賛同して参加していただいた方々をスタートからゴールまで安全・快適・確実に導けるよう体制づくりしていかなければならない。また、京都府山岳連盟トレイル委員会ははじめ関係機関が長年培ってこられた通過地域の住民や寺社との総合信頼関係を損なうことをしてはならないし、今後の「京都一周トレイル事業」に悪影響を与えないようにも配慮しなければならない。

ところで、今年は台風による被害も起こった。8月25日に台風12号(TALAS)がマリアナ諸島で発生し、ゆっくり北上し、9月3日午前10時前に高知県東部に上陸した。その後もスピードが遅いまま四国・中国地方を縦断した台風による豪雨で、奈良県十津川村が被災したのをはじめ、紀伊半島などで死者・行方不明者が90人を超え、平成最悪級の被害になった。

世界では、タイでも大雨により被害がでている。勾配がほとんど無く水が流れにくい地形に大雨が降ったため洪水が起り、10月4日頃からアユタヤで浸水が始まり、10月23日には首都バンコク中心部に浸水が始まり、自動車工場やパソコンのハードディスクの工場なども被災し、年末年始に予想される世界中の消費者の購買意欲に支えられないのではと心配されている。今後世界経済にも悪影響を及ぼしそうだ。また、世界では大きな地震も起こった。10月23日にトルコ東部でマグニチュード7.2の地震が発生し、多数の死者が出ている。

自然災害ではないが、歴史的な出来事があった。リビアではカダフィ大佐が10月20日に死亡し42年ほど続いた独裁政権が終わった。反カダフィ派の「国民評議会」は多くの部族の寄り合い所帯で意見の衝突が目立つという。世俗主義者とイスラム主義者の対立などの火種も抱えているらしい。権力打倒後の新体制づくりがかなり難しそうである。我が国の首相のように毎年コロコロ変わるのはいかがかと思うが、独裁政権につながりやすい「カリスマ」はもう不要ではないか。凡人の集まりが組織をうまく活性化して、物事を実現していく社会のほうが民主的ではないか。

(2011. 10. 28. 記 Y. S.)

【第2635回例会報告】

「聖山」	一等三角点	1,447.1m
「冠着山」	三等三角点	1,252.2m
「高峰山」		2,106m

OB 吉田 武

10月23日（日）

久ぶり信州の山に行った。麻績ICから聖高原に車を走らせ、聖山パノラマスキー場のヒュッテに着いたが、リフトがなくスキー場は廃止されているようだ。代わりにマレットゴルフのフィールドがあつて老若男女がプレーを楽しんでおられた。駐車場に車を置いて登ろうと思ったら、まだ先に林道があるので山勘で登っていった。パラボナアンテナが2基あるところまで登り、車を置いてアンテナの所に登ったら綺麗な保護石がしてある一等三角点に着いた。ガスがかかり展望は良くないが、気持ちの良い頂上である。以前からこの山には来たかったからどんな形でも登れたのが良かった。

次の山は「冠着山」又の名は「姥捨山」。45年ほど前、僕は信州に急行「ちくま」に乗ってスキーに行った時から姥捨駅のことは知っていたので、機会があつたら姥捨山に登ろうと思っていた。聖山から聖高原の中は沢山の林道が走り地図とナビを見ながら一本松峠にナビを合わせた。あとは地図を見ながら登山口に着いた。林道はもう少し走れそうだが、僕の車ではだめなようなので広場に車を置いて登る。よく踏まれた登山道で難なく頂上に着いた。

地元では多くの人が登っているようだ。聖山が少しかすんで見える。

長野県の民話で「姥捨山」とは、次のような話である。

年寄りの大嫌いな殿様が「60歳になった年寄りには山に捨てること」と言うおふれを出しました。殿様の命令には逆らえません。親も子も、その日が来たら山へ行くものとあきらめていました。ある日のこと、一人の若い男が60歳になった母親を背負って山道を登っていきました。気がつくと、背中の母親が「ポキッポキッ」と木の枝を折って道に捨てています。男は不思議に思いましたが、何も聞かずにそのまま歩きました。年寄りを捨てるのは深い深い山奥です。男が母親を残して一人帰る頃にはあたりはもう真っ暗闇。男は道に迷って母親のところに引き返しました。息子の姿を見た母親は静かに言いました。「こんなことも在ろうかと、途中で枝を折ってきた。それを目印にお帰り。」子を思う親の優しい心に触れた男は、殿様の命令に背く覚悟を決め、母親を家につれて帰りました・・・。

姥捨山の頂上で軽く腹ごしらえをして今日の宿舎 戸倉上山田温泉「福寿草」に着いた。当初、高峰温泉旅館に泊まるつもりが、日曜日なのに満員で、仕方なく戸倉温泉に変更して宿を探したが、4軒満員なのでネットで探したら、1部屋だけ「福寿草」に空き部屋があつたので助かった。そして思っていたよりも良い旅館で最近リニューアルされたようで、安く泊まれた。三種（あわび・信州牛・松茸）の料理が出たので、嬉しかった。

10月24日（月）

戸倉温泉から上信越道で小諸ICまで行き、車坂峠までは曲がりくねった道が延々と続いたが、やっと駐車場に着いた。高峰高原ホテル駐車場の西側から登った。頂上まで1.6km。ゆっくりと登っても40分くらいと思って歩き始めると、ぐんぐんと登っている。何度か息を整えて約50分かかった。昨日より天気はよく小諸市内が良く見えて、唐松林が綺麗に紅葉していた。2,000m以上はガスがかかって、浅間山も見えず近くの三方ヶ峰や東籠ノ登山も見えなかった。

昼前に下山できたけれど、これからが大変、450km 程京都まで距離がある。小諸市内まで降りて大門街道を諏訪 IC まで行き高速に乗って帰った。往復980km 走った。

【参加者】吉田 武, 他1名

なお、写真を添付しておきます。



聖山 一等三角点



聖山 頂上



冠着山登山口看板



冠着山登山道



冠着山三等三角点



高峰山頂の祠



テンナンショウの実



ムラサキシキブ



高峰高原の唐松



高峰山登山道のマツムシソウ



高峰登山口の道標



高峰山頂の看板

【個人山行】

信楽の山 「烏ヶ岳」 三等三角点 485m

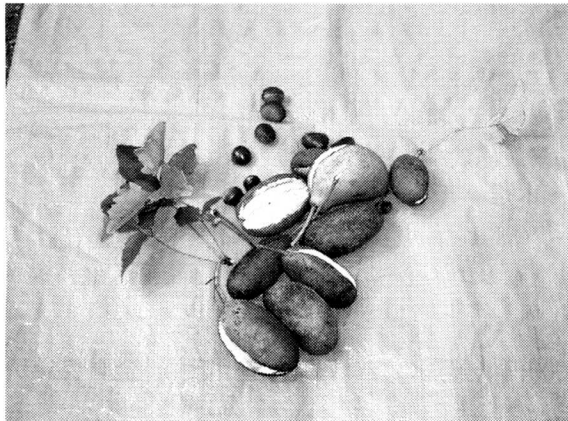
OB 吉田 武

10月10日（祝・月）

3連休の最後の日に、妻と信楽の山「堀木谷山」^{ほきたに}に登りにいった。信楽ICで高速を降りて黄瀬集落の高圧鉄塔から巡視路を登ろうと思ったが、猪避けのために柵がしてあり、南京錠がしてあるために入れず仕方なく他のルートを探したが見当たらず、近くにおられる人に聞いたら、今はマツタケ山の季節で入山禁止になっているので入らないようにと言われた。仕方なく、信楽の町から南下した所にある小川城跡のある小川山に登ろうと地元まで車を走らせたが、ここでもマツタケ山のために入山禁止となっていた。ここで家に帰ろうかと思ってアセボ峠を越えたが、あきらめきれずに林道を使って「烏ヶ岳」に登ることにした。広域林道の広場に駐車して林道終点まで登り、赤いテープを頼りに三等三角点「烏ヶ岳」に登った。展望の良いところで昼食のおにぎりを食べていると、マツタケ山の持ち主が来られて、「ここはマツタケ山だから入山してはいかん。」と言われたので、早々に食事をして下山した。この時期、看板が無けれども、入山は控えたほうがいいのかも。



芝栗とアケビ



例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2634	蒜山三座 上蒜山 中蒜山 下蒜山	10月15日 ～16日	晴	井戸 澄夫		(次号報告)
2635	聖山 冠着山 高峰山	10月23日 ～24日	晴	吉田 武	他1名	日程を変更しました。 (別稿詳報)

雑報

△△△ 10月の集会

日時 10月11日(火) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大槻, 岡田茂, 岡本勇, 方山, 三橋,
森本, 吉田, 和田, 清水 以上10名
内容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 9月の企画運営委員会

日時 9月21日(水) 18:30～
場所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 方山, 堀田, 三橋, 清水
内容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

10月号 趣味の登山, 青嶺, 比良山岳, 木雞
10・11月号 山友

△△△ 平成23年度部費徴収のお知らせ

平成23年度の部費を徴収します。年額6,000円(郵送の方は7,500円)です。企画委員か
会計担当(堀田)までお届け下さい。

△△△ 平成23年度部費受領者について

10月21日現在、既掲載諸氏以外に次の方々から平成23年度部費を受領していますので報告します。

(敬称略) 石川かず榮, 岡田浩一, 角田敏明, 方山宗子, 桂豊, 廣瀬光太郎, 室谷和彦,
山元誠一

△△△ 東日本大震災復興支援イベント

「がんばろう日本！元気を京都から！

チャレンジウォーク 京都一周トレイル」について

イベントの概略は部報前号で報告しましたが、我が部が担当する第6コース「二ノ瀬から氷室・京見峠を歩く（中級向き）」の第2回コース調査を次のとおり行い、コースにも慣れていただきました。この日は主に山道を歩いて調査し、氷室からの車道については車窓から調査しました。この調査の確認事項も元にして、人員配置や役割分担を計画していきます。参加していただいた方々、ご苦労様でした。

日 時 平成23年10月2日（日）8：30～

参加者 岡田茂, 吉田, 鷺見, 渡辺, 三橋, 松田, 堀田, 清水

調査事項 受付場所, 分岐点等誘導員位置, テープ・看板設置場所, 解散場所,
トイレの場所, 各ポイントから車回送の吉田さんと携帯電話で通話テスト,
参加者中間確認場所, 緊急車位置など

行 程 8：30 叡電出町柳—8：55 叡電二ノ瀬駅…9：00 川沿いの道(車で来た方々と合流)…9：15 富士神社…9：40 夜泣峠…10：15 向山…11：10 山幸橋…11：30 盗人谷一の橋…13：00 小峠…13：15 氷室…13：20 氷室跡…13：45 氷室神社 13：55—14：00 レストラン「長谷川」15：00—15：30 JR 二条駅西口

[10月22日（土）第3回コース調査]

雨天のため中止しました。

△△△ 平成24年1月集会兼新年会のお知らせ

担当者 松田 誠二

清水 康裕

堀田 剛

日 時 平成24年1月6日（金）18：30～

場 所 「かごの屋」四条烏丸下ル 地下鉄四条駅6番出入口前

TEL 075-353-8936

※京交山岳部 清水名で予約しました。

会 費 5,000円（当日徴収）

参 考 参加希望者は、1月3日（火）までに必ず担当者まで連絡をお願いします。